

# IV 国際競争力の強化・経済安全保障の確保

## II. 国内外におけるAIガバナンスの実現

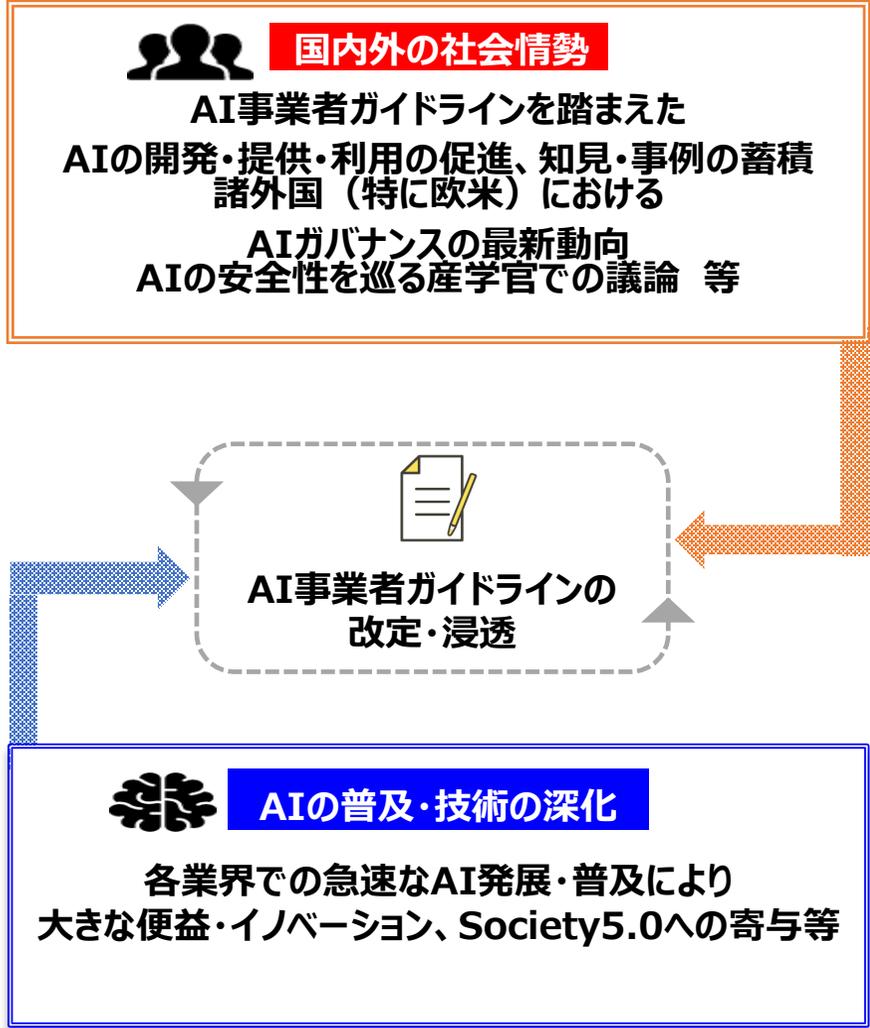
### (1) AI事業者ガイドラインの更新・周知

# AIの高度化に応じたガバナンスに関する調査研究

- 今後の技術動向や国内外の社会情勢の変化に応じたAIガバナンスの推進を図るため、AIの開発・提供・利用におけるリスクについて、各主体が果たすべき責任や取るべき予防措置・事後対応等に関して、検討・分析を行う。
- AIガバナンスにおける効果的な取組や諸課題に対する解決策等を整理し、AI事業者ガイドラインの所要の見直しを行うとともに、同ガイドラインの幅広い業種への周知・浸透を図ることにより、我が国の生成AIの開発・提供・利用を促進する。

**【予算】 AIの高度化に応じたガバナンスに関する調査研究**

0.4億円（7年度 0.4億円）



## IV 国際競争力の強化・経済安全保障の確保

### 11. 国内外におけるAIガバナンスの実現

#### (2) 広島AIプロセスの推進等による国際的なルール作りへの貢献

## 広島AIプロセスの成果の国際的普及

- G7広島サミットの成果を踏まえ、G7やOECD等の場における広島AIプロセス行動規範等を普及・展開。また、インターネットガバナンスの強化、DFFT（※）の推進等の国際的ルール形成を引き続き主導。

（※Data Free Flow with Trust:信頼性のある自由なデータ流通）

- 広島AIプロセスを一層推進するため、広島AIプロセスの精神に賛同する国・地域によるフレンズグループ会合を開催。併せて、広島AIプロセスの成果の実装支援に貢献するプロジェクトを実行するGPAI（※）東京専門家支援センターの活動を支援。

（※Global Partnership on Artificial Intelligence）

- また、令和5年に京都で開催された国連主催のインターネット・ガバナンス・フォーラム（IGF）の成果を活用して、国内外のマルチステークホルダーの参画強化等を図り、インターネットガバナンスの強化に向けた国際的な議論を引き続き主導。

### 【予算】

多国間枠組におけるデータ流通等に係る連携強化事業

3.0億円（7年度 3.0億円）

経済協力開発機構（OECD）への拠出 1.3億円（7年度 1.3億円）

